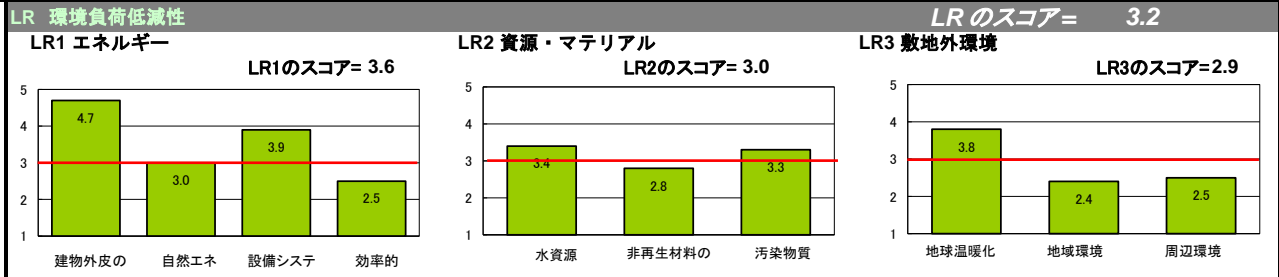
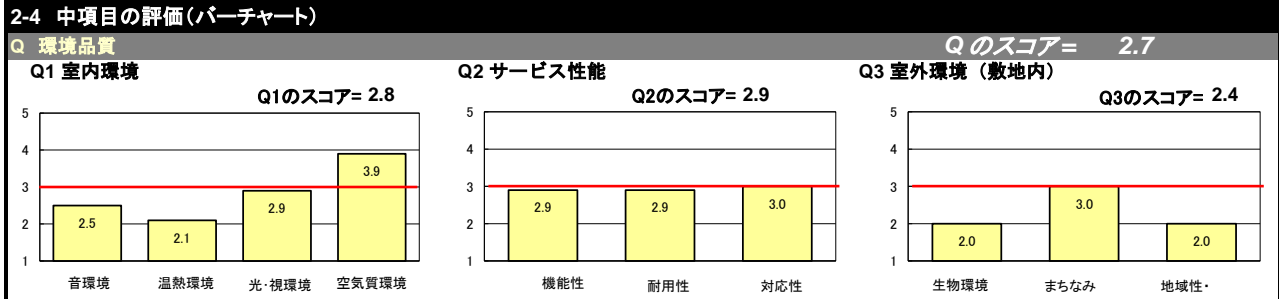
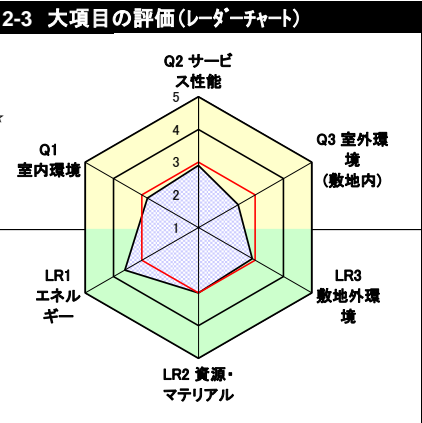
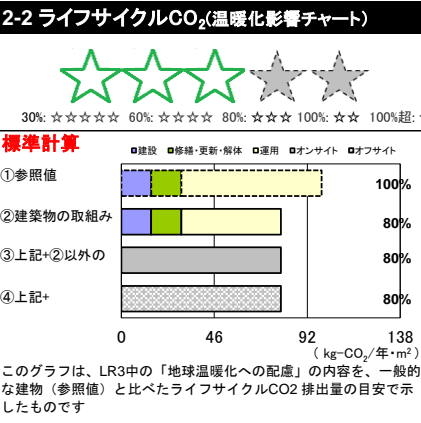
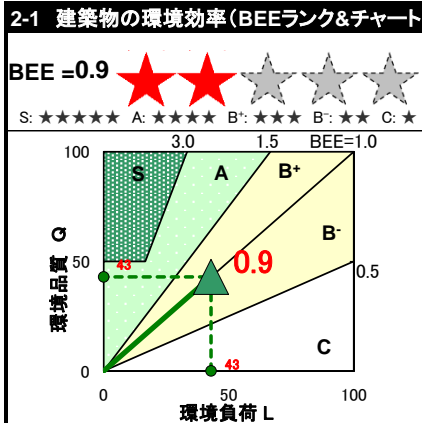
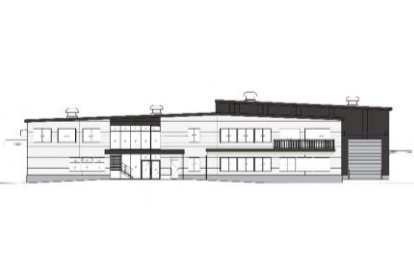


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊勢原新工場新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県伊勢原市鈴川7番3	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,800時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2020年10月1日
敷地面積	7,349㎡	作成者	株式会社浅沼組東京本店一級建築士事務所
建築面積	3,202㎡	確認日	2020年10月1日
延床面積	4,014㎡	確認者	株式会社浅沼組東京本店一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物を敷地中央に配置することで、道路境界から適度な距離を保ち、ゆとりのある公共空間を確保し、敷地周囲を緑化することで歩行者の建物に対する圧迫感を軽減した計画としている。 また、建物は極力低くするとともに原色の利用を避けた色彩とすることで背景となる大山の眺望へ配慮した計画としている。	
Q1 室内環境 十分な遮音性能を確保した計画としている。 また、設備においても適切な容量を確保した計画としている。	Q2 サービス性能 事務室の天井高さを2,800mmとし、OAフロアを採用することで、柔軟なレイアウトを可能としており、執務に集中できるような空間作りを努めている。
Q3 室外環境(敷地内) 十分な外構緑化を行い、かつ既存樹木を保存することで、周辺環境に寄与する計画としている。また、景観についても大山の眺望へ配慮し建物高さを極力低くするとともに原色を避けた色彩を利用した計画としている。	
LR1 エネルギー 設備システム高効率化を図ることにより、環境への負荷を軽減している。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生機器を採用することにより、節水を考慮している。
	LR3 敷地外環境 駐車場及び駐輪場を適切に設け、荷捌き等のスペースを確保することで、敷地外への違法駐車等がないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される